

## 令和5年度 渡島圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会

### 地域づくりコーディネーター活動報告

#### ■地域づくりC o 2年目を振り返って

##### ➤ 頑張れたこと

- ・令和4年度よりは業務内容を理解することができた。
- ・相談支援専門員等、障がい福祉事業所職員のニーズに合わせた研修会を開催出来た。
- ・他圏域のコーディネーターとのやり取りが増えた。

##### ➤ もう少し頑張らないとならないこと

- ・年間通しての研修予定をうまく組み、業務の効率化を図りたい。
- ・市町訪問があまり出来ておらず、その市町の状況を把握しきれしていない。
- ・制度等に関する全体的な知識不足を実感している。

#### ■ぱすてるに入る相談傾向

##### ➤ 施設入所に関する相談

- ・北海道外からも「強度行動障害」の方が入所できる施設を探していると問い合わせ。

- ・障がい者基本計画では「地域移行」を進めているが、実態は…。
  - ・「強度行動障害」に対応できる職員の育成、地域移行を進めるための人材育成が課題。
  - ・そもそも「強度行動障害」は間違った支援によって作られる。
- 転居に絡む相談
- ・他地域から函館近郊に転居するため地域の状況を教えて欲しいという相談。
  - ・計画相談に対応できる相談支援事業所の紹介が必要となる。
  - ・相談支援事業所不足
- 『発達障害疑い』の引きこもりケースに関する相談
- ・「発達障害がありそうなのでぱすてるに対応して欲しい」と他機関から依頼がある。
  - ・他者とコミュニケーションがうまく取れない＝発達障害という認識は…？